

第64回全道へき地複式教育研究大会宗谷プレ大会の開催に寄せて

北海道教育庁宗谷教育局長

岡村 眞規子

第64回全道へき地複式教育研究大会宗谷プレ大会が、全道各地から多数の先生方をお迎えし、この度、宗谷管内の9会場で開催されますことは、誠に意義深く、心からお祝いを申し上げます。

北海道へき地・複式教育研究連盟におかれましては、これまで、へき地複式教育の特性を生かし、児童生徒一人一人に、未来に生きる力をはぐくむ学校・学級経営と学習指導の在り方等について研究を進められ、本道におけるへき地複式教育の充実・発展に寄与していただいておりますことに敬意を表します。

さて、21世紀を生き抜くための力を育成するため、各学校には、知識・技能の習得に加え、思考力・判断力・表現力等の育成や多様な人間関係を結んでいく力を育むことが求められております。

特に、へき地・複式教育におきましては、子どもが自らの力で学習を進める間接指導の充実を図り、主体的な学習態度を育成するとともに、複数の学校で連携しながら、集合学習や交流学习などを教育課程に位置付け、異学年や他校種と交流する活動をとおして、児童生徒の学習を、より豊かで充実したものにすることが大切であります。

このような中、「最北の風薫る宗谷の海と大地に生き 未来を担う子らに 豊かな心と確かな学びを！」を宗谷大会のスローガンとして掲げ、子どもが学び方を身に付け、見通しをもって主体的、意欲的に学ぶための授業づくりや、集合学習を通して学びの質を高め、子どもたちの人間関係を豊かにするなどの実践的な研究を深めておられますことは、誠に時宜を得た取組であり、大変心強く思っております。

本研究大会におかれましては、子どもの変容に重点を置いた研究に取り組み、積み上げられた授業実践の成果を積極的に全道に発信し、開かれた研究活動を進めていただくよう御期待申し上げます。

結びに、北海道へき地・複式教育研究連盟並びに宗谷複式教育研究連盟の今後ますますの御発展と会員の皆様の御健勝を祈念申し上げ、開催に当たってのお祝いの言葉といたします。